

失敗も必要

校長 新門 健一

人間誰しも失敗はある。私自身これまでの人生を振り返ってみると失敗だらけだったような気がする。それらの一つ一つをきちんと振り返ってみるのは当然出来ないけれど、これまで似たような出来事があった時にその失敗した出来事が思い出され、色々と考え判断する時にとてもためになったような気がしている。

ボクシングの前WBC世界バンタム級チャンピオンの長谷川穂積選手(世界タイトルを10回連続で防衛し11回目で敗れ、今度2階級上のフェザー級でチャンピオン復活を目指している)が、自分自身を励ます意味で書かためている文の中に「失敗は失敗のままで終わっているから失敗なのであり、成功するまで頑張ればその失敗は失敗ではなく良い経験である」というような意味のものがあつた。長谷川選手が書いていたそのままでないのだが。

我々大人は、子ども自身その時は失敗としか思えないかもしれないが、後で考えると良い経験だったと振り返られるような言葉かけ・見守りを日々行っていきたいものです。親として「なんだこの点数は?」「こんなことも出来ないのか?」という言葉ではなく、「こんな問題が出来るようになったんだね」「縄跳びの二重跳びがこんなに出来るようになったんだ」というように以前よりはその子なりに伸びたことを認めてあげたいものです。

悪い点数や悪い結果の時一番傷ついているのは本人です。(自分自身の経験からもおわかりだと思いますが)自分自身でしまったと思う気持ちを大切にしつつ、その気持ちを忘れずに少しでも向上していくように努力していける子どもたちであるように働きかけていきたいと思っています。努力を続けられることがとても大切です。「成功」・「失敗」は、評価の仕方によって人それぞれ違ってくるはずですから。

たけんこ学級“合唱教室”

21日(木)・25日(月)と2日間にわたり平田祐子三島中学校非常勤講師の指導のもと、たけんこ学級(家庭教育学級)にて「合唱教室」を実施しました。学級生は、日頃(カラオケで?!)聞き慣れた曲でも“合唱”として歌うことで、ハーモニーができることを楽しみながら参加していました。

この練習の成果を文化祭において地区の方々にも披露することができ、有意義な「合唱教室」となりました。(右は文化祭での発表の様子)



九月踊り

17日(日)、18日(月)に地区の伝統行事「九月踊り」が行われました。

今年は、中学部2年の新門佳奈さん、中学部1年の樋渡初菜さんの2人も参加しました。

地区の伝統として伝わる華麗で優雅な踊りを披露することができ、大変貴重な体験となりました。



みんなでがんばった“文化祭”

28日(木)に文化祭を実施しました。

小学部の劇「大きなオジサン」や中学部の劇「アトム戦隊 ゲンシマン ツー」では、子ども達が歌や台詞を盛り込みながら、言葉の面白さや日頃の学習の成果を楽しみ演技で伝えていました。

また、小学部の「影絵」や中学部の「バンド演奏」及び児童生徒全員による合奏「ミシマスペシャル」では、子ども達がお互いに協力しながら練習の成果を発揮した発表を披露していました。

さらに、さくら組さんのオペレッタ「三びきのやぎとトロル」、たけんこ学級による合唱、職員のダンス演技、未来人(?)のダンスなどバラエティあふれる発表参加もあり、より充実した内容の文化祭を実施することができました。

舞台発表だけでなく展示発表も含めて、子ども達は、日頃の学習の成果を生かした発表を披露できたのではないかと思います。

御多用の中、御参観いただいた保護者や地域の皆様方、本当にありがとうございました。



児童生徒会活動がんばります。

児童生徒会の後期活動に向けて役員改選を行いました。その結果、下記のように役員が決まりました。

全児童生徒19人が「一人一役」で責任をもって、よりよい学校生活を築くために頑張ろうと決意を新たにしました。

- 〔児童生徒会長〕新門佳奈(中2)
- 〔児童生徒会副会長〕平田竜暉(中1)
- 〔書記・会計〕前川友子(小6)
- 〔生活委員会委員長〕樋渡初菜(中1)
- 〔整備委員会委員長〕池田靖嵩(中1)
- 〔保体委員会委員長〕浜本溪之進(中2)

どんぐり読書週間

18日(月)～22日(金)は、「どんぐり読書週間」でした。

21日(木)は、本校ならではのガジュマルの木の下での“緑陰読書”を計画していましたが、当日はあいにくの雨模様ということで、図書室での読書会となりました。それでも、子ども達と職員と一緒に読書を楽しむことはできました。

秋の夜長、是非御家庭でも親子で読書に親しんでみてはいかがでしょうか。

